

学科名	マンガ・アニメーション科四年制
コース名	キャラクターデザインコース
授業科目	デッサン 3
必選	必
年次	3年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	45
単位数	1
担当教員	大槻 透、斉藤里香
実務経験	有
実務経験職種	画家
授業概要	素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備える。
到達目標	描画材料の使用法に始まり、素描の基礎の基礎から学ぶ中で、癖なく、正しい素描の表現を出来るようになる。 次年度の応用へ向けて基礎的な描写力を備え、知識・技術を学ぶだけでなく完成まで描き切れる集中力の持続力も備えられるようになる。
授業方法	対面方式にて実習形式で行う
成績評価方法	課題 80% 課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価 授業態度 20% 作品制作への積極性を評価
履修上の注意	苦手意識があっても手を止めず描き続ける事が重要。 実習授業ゆえに、集中力の無い学生や苦手意識の高い学生が手を止めたり居眠りをする場合が有るので、 逐一巡回、個人指導を行う。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	必要に応じて授業にて資料配布を行う

授業計画	
第1回	身近なものに隠されたパース（球・円柱・立方体） 様々な基礎形態の構造の再確認。構図の工夫と空間表現。
第2回	風景（屋外） 学校周辺の取材。クロッキーと写真撮影。
第3回	風景（屋外） 空間と光の表現
第4回	風景（屋外）
第5回	人物クロッキー プロポーションとジェスチャー 素早くとらえる
第6回	ヌードデッサン 人体の観察 プロポーション 動き 量感
第7回	ヌードデッサン リアルな人物描写 完成度の高い作品を仕上げる
第8回	静物Ⅰ（かぼちゃ・基礎形態） 空間を生かした構図の工夫 構造の理解と量感
第9回	静物Ⅰ（かぼちゃ・基礎形態） 野菜固有の形や大きな陰影を観察し量感を出す
第10回	静物Ⅰ（かぼちゃ・基礎形態） 固有色の対比に注目し細部まで描写する
第11回	石膏クロッキー ポリ्यूーム画 ポリ्यूームに注目し、形を大掴みにとらえる目と手の訓練 クロッキー
第12回	石膏 胸像 構図 背景も含めた明暗の計画 測量と比較の徹底
第13回	石膏 胸像 丁寧な観察による陰影表現と量感 測量と比較の繰り返し
第14回	石膏 胸像
第15回	石膏 胸像 仕上げに向けた描写の積み重ね。空間、質感。時間をかけて描き切る

学科名	マンガ・アニメーション科四年制
コース名	マンガコース
授業科目	デッサン3
必選	必
年次	3年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	45
単位数	1
担当教員	まつやま登
実務経験	有
実務経験職種	マンガ家
授業概要	人物の作画力・表現力に焦点を充て、人体骨格を常に意識したキャラクター制作や、シチュエーションによる動き等を、学ぶことを主目的とする。人体の知識を学んでいくと共に、クリップスタジオ、フォトショップ、イラストレーター等のデジタルソフトを使用して、装丁やキャラクターのアバター化等、デザインに関しても理解を深めていく。
到達目標	この科目では、人体についての学びや、デザインの知識を深めることにより、キャラクター単体の創作力を磨くこと共にデザインに関する知識・技術を経験して、マンガだけに留まることなく様々な作品を制作していくことを主目標としている。卒業後の就職やフリーランスの活動に流用していくことのできる技術・知識も合わせて身に着けることも目標とする。
授業方法	マンガ制作における高度な専門ツールの使い方や制作技法を学びます。
成績評価方法	作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。
履修上の注意	この授業では、1年次の授業の応用となるため復習を行い、授業内ではしっかりと先生の話聞くだけでなく、必ずメモを取るよう指導を行う。常に制作する作品は仕事と同義であると認識させ締切を守る意識を養うため課題の提出厳守及び、遅刻や欠席は認めない。4分の3以上の出席をしない者は、課題の評価対象にならない。
教科書・教材	毎回資料をデータ・レジュメで配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

授業計画	
第1回	オリエンテーション イラスト制作 三角名札の作成 CLIPSTUDIOの機能を使用したイラスト制作
第2回	マンガ編集① データ編集作業 冊子『MARBLE』データ作成
第3回	マンガ編集② データ編集作業 冊子『MARBLE』データ作成
第4回	Adobe illustrator基礎① ロゴ制作
第5回	産学連携イラスト制作 『かわごえCOMICTANBO』イラスト制作
第6回	CLIPSTUDIO基礎① LINEスタンプ作成
第7回	CLIPSTUDIO基礎② イラストにおける様々な質感表現の理解
第8回	CLIPSTUDIO基礎③ アイソメトリックイラストの作成
第9回	Adobe illustrator基礎② Adobeillustratorを使用した小物イラストの作成
第10回	Adobe illustrator基礎③ Adobeillustratorを使用したキャラクターイラストの作成
第11回	Adobe illustrator基礎④ Adobeillustratorを使用した背景イラストの作成
第12回	Adobe illustrator基礎⑤ Adobeillustratorを使用したポスターデザインの作成
第13回	Adobe illustrator基礎⑥ ポートフォリオ制作
第14回	Adobe illustrator基礎⑦ ポートフォリオ制作
第15回	講評会 作品発表 授業の振り返り

学科名	マンガ・アニメーション科四年制
コース名	アニメーションコース
授業科目	デッサン3
必選	必
年次	3年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	45
単位数	1
担当教員	大槻 透、斉藤里香
実務経験	有
実務経験職種	画家
授業概要	素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備える。
到達目標	描画材料の使用法に始まり、素描の基礎の基礎から学ぶ中で、癖なく、正しい素描の表現を出来るようになる。 次年度の応用へ向けて基礎的な描写力を備え、知識・技術を学ぶだけでなく完成まで描き切れる集中力の持続力も備えられるようになる。
授業方法	対面方式にて実習形式で行う
成績評価方法	課題 80% 課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価 授業態度 20% 作品制作への積極性を評価
履修上の注意	苦手意識があっても手を止めず描き続ける事が重要。 実習授業ゆえに、集中力の無い学生や苦手意識の高い学生が手を止めたり居眠りをする場合があるため、 逐一巡回、個人指導を行う。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	必要に応じて授業にて資料配布を行う

授業計画	
第1回	身近なものに隠されたパース（球・円柱・立方体） 様々な基礎形態の構造の再確認。構図の工夫と空間表現。
第2回	風景（屋外） 学校周辺の取材。クロッキーと写真撮影。
第3回	風景（屋外） 空間と光の表現
第4回	風景（屋外）
第5回	人物クロッキー プロポーションとジェスチャー 素早くとらえる
第6回	ヌードデッサン 人体の観察 プロポーション 動き 量感
第7回	ヌードデッサン リアルな人物描写 完成度の高い作品を仕上げる
第8回	静物Ⅰ（かぼちゃ・基礎形態） 空間を生かした構図の工夫 構造の理解と量感
第9回	静物Ⅰ（かぼちゃ・基礎形態） 野菜固有の形や大きな陰影を観察し量感を出す
第10回	静物Ⅰ（かぼちゃ・基礎形態） 固有色の対比に注目し細部まで描写する
第11回	石膏クロッキー ポリ्यूーム画 ポリ्यूームに注目し、形を大掴みにとらえる目と手の訓練 クロッキー
第12回	石膏 胸像 構図 背景も含めた明暗の計画 測量と比較の徹底
第13回	石膏 胸像 丁寧な観察による陰影表現と量感 測量と比較の繰り返し
第14回	石膏 胸像
第15回	石膏 胸像 仕上げに向けた描写の積み重ね。空間、質感。時間をかけて描き切る